

第1回
8/29
(金)

ハイブリッド開催

R7年度エンパワーメントカレッジ
えひめ女性リーダー育成塾
女性部下を育てるためのマネジメントセミナー
公開セミナー

地域に根差した女性活躍とキャリアの築き方
～ともに成長する個人や組織の取組とは～
株式会社富士通四国インフォテック

代表取締役社長

竹岡 ゆかりさん



講師の竹岡さんは、地元愛媛で就職し、地域に関わりながら、時代や自身の状況に応じてロールモデルの少ないなかでキャリアを切り拓き、現在に至っています。

SE（システムエンジニア）から営業職への転向、結婚・育児休業後の復職、幹部への昇格とマーケティング部門への転向など、キャリアの転換となるターニングポイントがいくつかあり、その時々抱えた葛藤はあったものの、これまで仕事を続けて来られたのは、創りたい世界（パーパス）や目指す自分があった上に、上司や同僚など自分の働きを認めてくれる職場環境があったことが大きかったそうです。そのターニングポイントで自身を変えたり、支えとなったりした上司からの「糧となる言葉」を具体的に多数紹介して頂きました。

私たちが働く上で、周りの期待を感じて感謝し、自分を枠に入れなくて更に超えてみることで、プロ意識の追求を楽しむことが大事だとエールをいただきました。

受講生の感想

- 講師の方の経験や考え方を聞いて視野が広がった気がします。自分の枠にはめることなく少しでもチャレンジしようと思います。ざっくばらんで軽快なお話が大変面白くあっという間の時間でした。相当なご苦勞をされていると推察しますが、客観的にご自身を見ることができ、ご自身の強さとその個性を認めてくれる周囲の方々の存在があり、全てが竹岡さんの力になっていると感じました。少し力を分けていただけたいと思います。頑張ります。
- ターニングポイントでの折に触れての上司からの言葉もこれまでキャリアを続け、積み上げて来られた大きな要因なのだと感じました。現在、その上司の立場にありますので、自分の声掛けや向き合い方で部下のキャリアに良い影響が与えられるよう、真摯に向き合っていきたいと思っています。

第2回
9/18
(木)

(オンライン開催)

上司としての女性部下との向き合い方 ～コーチングのヒント～

S.I.Cオフィス代表 キャリアコンサルタント 河野 久美子さん



人材育成や働き方改革などのセミナーを行っている講師より、働く女性がおかれている社会的背景や現状を管理職・上司の共通理解として説明して頂きました。

加えて組織や管理職が「女性部下のマネジメントが難しい」と感じる要因、さらに女性部下のキャリアアップを阻む、アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）やハラスメントの課題をあげて、女性社員が成長機会を逃しやすい場面についても解説されました。

これを踏まえて、女性の活躍を最大限に引き出すために、上司ができるマネジメントとしては、「成長を期待する」、「仕事への意欲や家庭環境の共有」、「成果につながる機会付与」の3点が鍵となります。これらのマネジメントを行うために、信頼関係を作るための効果的な声掛け、相談に乗るために必要な「質問のスキル」、受け止めて引き出したり、共感しながら意識的に聴く「傾聴のスキル」、認めて成長や変化を具体的に褒める「承認のスキル」等、上司が出来る具体的な支援策をコーチングの手法から教えて頂きました。

女性部下自身が成長を実感し、モチベーションをあげて働きやすいきいきと活躍している職場は、男性も働きやすい職場であること、女性部下の育成は、組織全体の力を高めることになるので、そのために職場・上司が出来るアクションプラン（行動計画）を立て実践していくことが必要だとお話いただきました。

受講生の感想

- ・ 信頼関係作りと効果的な声掛けの枠がとても良かったです。これからはオープンクエスチョンに心掛け傾聴のスキルを身に付けたいです。また「私」を主語にして承認する表現であるI（アイ）メッセージを、声に出して実践したいと思いました。
- ・ 河野先生の話し方に癒されました。私も河野先生のように優しくゆっくり品よくしゃべれるように心掛けていきたいです。女性社員と話すのもなかなか躊躇するときもありますが、相手を尊重して日頃ちゃんと見て認めていることを伝えられるようにしていきたいです。
- ・ とても分かりやすかったです。私の職場は男性が多く、リーダーもすべて男性です。女性が働きやすい職場は男性も働きやすいということがとても心に残っています。女性育成だけでなく、男性育成も同じであると思いながら聞く事が出来ました。ぜひ、職場の男性リーダーにも聞いてほしいと思いました。
- ・ 再度、資料を振り返りアクションプランを作成して実践できるように頑張っていきたいと思います。具体的なロールプレイングやチェックシートが特に参考になりました。